

## 「認知症研究会」 中部支部が発足

岐阜市で講演

認知症の予防や治療を推進する学会「認知症の早期発見、予防・治療研究会」中部支部（代表世話人・岐阜薬科大の原英彰副学長）が14日、発足した。同日に岐阜市吉野町の岐阜大サテライトキャンパスで研究会が開かれ、約100人が認知症予防の必要性を学んだ。写真。



中部支部は、中部・北陸7県の認知症研究者らで組

織する。年2回のペースで市民向けに研究会を開催して認知症の予防や治療などの情報を発信し、市民の健康寿命を延ばすことにつなげる。

研究会では、認知症の母親を介護した男性や若年性認知症患者の支援を行う作業療法士らが講演した。ウエルシア薬局（東京）執行役員の小原道子さんは各店舗の薬剤師が中心となって行う認知症予防の取り組みを紹介した。（青山和史）